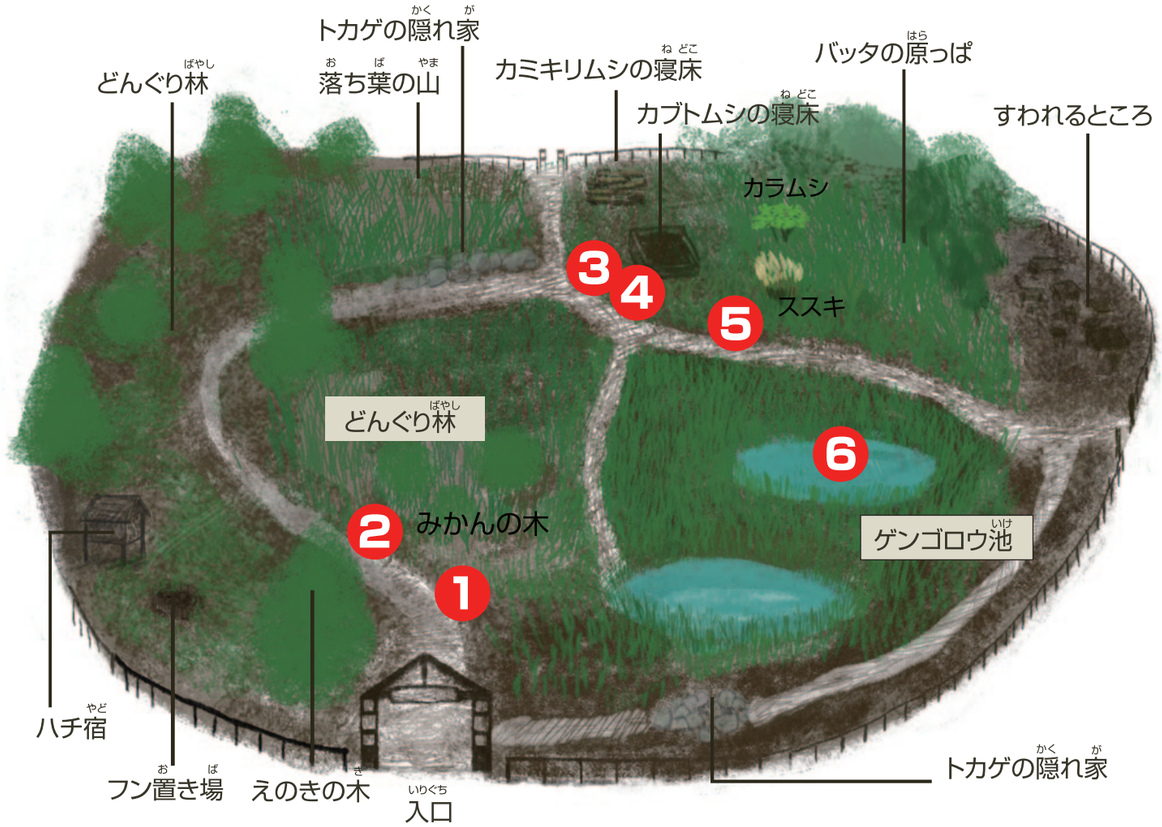
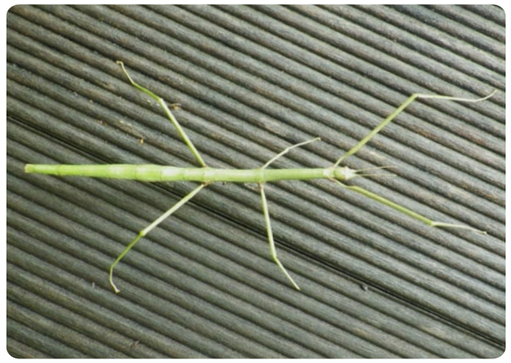
2016.6.26

今週のいきもの広場

いきもの広場は、動物園の中に作った「近所の自然」です。広場のなかには様々な環境や生き物と出会うための小さなしかけがたくさんあります。6月になって、さらにいきものの種類が増えています。動物だけでなく、アジサイの花が咲いたり、クワの実がなったりと、植物を見ても楽しい季節です。



❶ ナナフシモドキ



足先まで含めると 15cm 程になる成虫が見つかりました。ちなみに「ナナフシ」とよばれていますが、実際には「ナナフシ」という名前の昆虫はいません。

❷ トビナナフシの幼虫

ナナフシモドキよりも触角が長く、翅を持っているのが特徴です。まだ 5cm にも満たない幼虫ですが、小さな翅が見えます。

❸ カマキリのなかまの幼虫

5 cm 前後の小さなカマキリです。5月頃に卵からふ化したと思われます。植物の種類を問わず葉の表にいることが多く、そっと近付けば間近で観察することができます。

❹ ラミーカミキリ

パンダ模様がかわいいカミキリです。ラミーとは食草のカラムシのなかまのことで、広場のカラムシ付近で見つけることができます。

❻ オオシオカラトンボのオス

オスは体色が水色、メスは黄色です。ショウジョウトンボ・クロスジギンヤンマのオスとともになわばり争いのためゲンゴロウ池の水面で飛び回っています。

❺ ニホンカナヘビ

カナヘビとトカゲの見分け方のひとつとして、天気のよい日はトカゲは石や朽ち木の上で、カナヘビは草の上で日を浴びていることが多いです。

カブトムシの幼虫はお休み中です

カブトムシの幼虫がさなぎへと変身中です。さなぎの時に傷がつくと、成虫になれないこともあります。1ヶ月ほどの間、土は掘らずに、静かに見守ってあげてください。

いきもの広場　毎週日曜日11:00～12:00　＊開催時間外はお入りいただけません。